

- 問1 室町時代、室町幕府や有力な寺社は財政収入を増やすために、物資の往来が盛んな街道の要所に特定の施設を設置しました。この施設を利用した制度の説明として最も適切なものを選んでください。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 主要な港に奉行所を置き、海外から持ち込まれた木材などの輸入品をすべて幕府が買い上げた。 | 2. 問屋が生産者から商品を一括で買い取る仕組みを作り、幕府がその取引額の一定割合を徴収した。 | 3. 街道の要所に関所を設置し、そこを通過する商人や旅人から通行料を徴収して収入源とした。 | 4. 幕府が公認した株仲間営業の独占権を与える代わりに、運上や冥加と呼ばれる税を納めさせた。 |
|--|---|---|--|
- 問2 南北朝の動乱に関連して、足利尊氏が支持した京都の朝廷に対し、後醍醐天皇が拠点を置いた「吉野」の位置関係について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 京都から遠く離れた東北地方に位置し、金銀が産出されていた。 | 2. 京都から見て南側の内陸部に位置している。 | 3. 京都から見て南西の海岸沿いに位置し、港町として栄えていた。 | 4. 京都から見て西方の九州地方に位置し、外交の拠点となっていた。 |
|----------------------------------|-------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
- 問3 室町時代から戦国時代にかけて、大阪湾に面した港町である堺は、海外貿易の拠点として繁栄しました。この町では、大名などの外部勢力による支配を避け、自分たちで町を運営する自治が行われていました。このとき、堺の自治を担った36人の有力な商人からなる組織の名称を、次の中から選びなさい。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 会合衆 | 2. 惣村 | 3. 町衆 | 4. 寄合 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問4 足利義満が開始した日明貿易において、当時東アジアの沿岸部で活動していた海賊集団である倭寇と、幕府が派遣した正式な貿易船を区別するために用いられた方法はどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|---------------------|------------------------|--------------------|
| 1. 幕府が発行した朱印状を船に掲げさせた | 2. 特定の港に限定して貿易を許可した | 3. 明の言葉を話せる通訳の同乗を義務づけた | 4. 勘合と呼ばれる割札を照合させた |
|-----------------------|---------------------|------------------------|--------------------|
- 問5 室町時代には農業や手工業の発展にともない、各地の特産物を運ぶ流通が活発になりました。この時代、馬の背に荷物を載せて陸上の輸送を担った専門の業者は何と呼ばれますか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 1. 問丸 | 2. 馬借 | 3. 座 | 4. 土倉 |
|-------|-------|------|-------|
- 問6 中世において、本州北端の津軽半島に位置する日本海側の拠点として、豪族の安藤氏のもとでアイヌの人々との交易や日本海交易の中継地として栄えた港町を何というか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|--------|-------|
| 1. 堺 | 2. 博多 | 3. 十三湊 | 4. 平泉 |
|------|-------|--------|-------|
- 問7 894年に菅原道真が遣唐使の停止を建議した理由として、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 唐の国力が衰え、往復の航路も非常に危険であったため | 2. モンゴル帝国（元）が日本への侵攻を計画し始めたため | 3. 聖徳太子が定めた冠位十二階の制度が崩壊したため | 4. 清との間で南京条約を締結し、貿易の制限がなくなったため |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
- 問8 後醍醐天皇が行った「建武の新政」に関連する人物や出来事の説明として、正しいものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|---|
| 1. 平氏を滅ぼした源頼朝が、後醍醐天皇から征夷大將軍の職を授かった。 | 2. 北条泰時が御成敗式目を制定し、建武の新政における裁判の基準とした。 | 3. 聖徳太子が制定した冠位十二階に基づき、家柄に囚われない人材登用が行われた。 | 4. 鎌倉幕府を滅ぼすのに協力した足利尊氏が、後に離反して光明天皇を擁立した。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|---|
- 問9 室町時代に足利義満が始めた明との貿易において、わざわざ「勘合」と呼ばれる札を半分に分けて照らし合わせる方法が採用された目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 倭寇と呼ばれる海賊による密貿易を防ぎ、正式な貿易船であることを証明するため | 2. 朝鮮半島を経由せずに、直接中国の港へ入港する許可を個別に得るため | 3. 明の皇帝から授かった日本国王の称号が、世襲であることを確認するため | 4. 幕府が独占していた金や銀の輸出量を、明の役人と正確に照合するため |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問10 室町時代の古記録である『大乗院寺社雑事記』には、山城国南部の国人たちが集会を開いて地域の法を制定し、守護大名の軍勢が国内に入ることを禁じた様子が記されています。このような民衆や地元の武士による自治の動きが生まれた背景として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 元寇による防衛費の負担が増大したことで、生活に困窮した武士や農民が幕府の倒幕を目的として蜂起したため。 | 2. キリスト教の布教とともにヨーロッパの自治都市の考え方が伝わり、各地で領主に抵抗する運動が広まったため。 | 3. 幕府が「建武式目」を制定し、地方の国人や百姓に対して、自ら政治を行う権利を正式に認めたため。 | 4. 応仁の乱によって幕府や守護の権威が衰え、自分たちの力で地域を守り、平和を維持する必要が生じたため。 |
|--|--|---|--|
- 問11 室町時代に、商人や手工業者が結成した「座」と呼ばれる同業者組合の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 交通の要所に位置する港などで、商品の保管や運送、売買の仲介を行った業者。 | 2. 寺社や公家に税を納める代わりに、商品の販売や製造の独占権を認められた組織。 | 3. 幕府から公認を受けて「株」を持ち、江戸時代に営業の独占を認められた組織。 | 4. 織田信長らが市場の活性化を目的として、それまでの独占的な特権を廃止した制度。 |
|---|--|---|---|
- 問12 15世紀前半から19世紀後半にかけて存在した琉球王国の政治、外交、文化の中心地であり、現在は沖縄県那覇市に位置し、世界文化遺産にも登録されている城郭の名称を選びなさい。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|---------|
| 1. 首里城 | 2. 中城 | 3. 高知城 | 4. 今帰仁城 |
|--------|-------|--------|---------|
- 問13 16世紀の明（中国）において、北方のモンゴル族による侵入と、南方の沿岸部で活動した倭寇による被害が並行して発生し、国家を苦しめた情勢を指す言葉は何ですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|--------|--------|
| 1. 北虜南倭 | 2. 文禄・慶長の役 | 3. 下剋上 | 4. 鎖国令 |
|---------|------------|--------|--------|
- 問14 室町時代に行われた、明の皇帝に対して日本が朝貢（贈り物を届ける）する形式をとった貿易について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 平清盛が兵庫の港を整備して、積極的に利益を得ようとした。 | 2. 朱印状という渡航許可証を持った船が、東南アジア諸国と取引した。 | 3. 勘合という札を用いて、倭寇と正式な貿易船を区別して行われた。 | 4. 長崎の出島において、オランダや清の商人と限定的に行われた。 |
|---------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 街道の要所に関所を設置し、そこを通過する商人や旅人から通行料を徴収して収入源とした。	室町時代には農業や手工業の発達により地域間の流通が活発になりました。この経済活動に注目した室町幕府や寺社などは、街道や港に「関所」を設け、そこを通る人々から「関銭（せきせん）」や「津料（つりょう）」といった通行料を徴収しました。これは当時の権力者にとって重要な財源となりました。選択肢にある株仲間や問屋の全盛期は江戸時代であり、時代背景が異なります。
問2	答え 2 京都から見て南側の内陸部に位置している。	後醍醐天皇が南朝を開いた「吉野」は、現在の奈良県南部に位置する山深い内陸部です。京都を拠点とする足利尊氏らの勢力（北朝）に対し、後醍醐天皇は京都から南へ逃れたため「南朝」と呼ばれます。地理的にも京都の南側に位置する要害の地であったことが、約60年にも及ぶ対立を支える拠点の一つとなりました。
問3	答え 1 会合衆	堺は日明貿易（勘合貿易）や南蛮貿易の拠点として巨万の富を築き、「東洋のベニス」と称されるほどの自治都市となりました。この運営を担ったのが、36人の豪商からなる「会合衆（えごうしゅう）」です。一方、「町衆」は同時期の京都で自治や文化を支えた商工業者を指し、「惣村」は農民による自衛・自治組織を指すため、区別が必要です。
問4	答え 4 勘合と呼ばれる割札を照合させた	日明貿易は、明の要求であった「倭寇」の取り締まりを前提に始まりました。正式な貿易船であることを証明するため、日本側と明側で半分に分けた「勘合（勘合符）」と呼ばれる札を持参し、入港時にこれをつき合わせて確認する仕組みが導入されました。この仕組みから、日明貿易は「勘合貿易」とも呼ばれます。
問5	答え 2 馬借	室町時代、生産力の向上により商品の流通が盛んになると、輸送の専門業者が登場しました。陸上輸送において馬を利用した業者が「馬借」であり、牛を利用した「牛借」とともに物資の運搬を支えました。一方、港町などで水上輸送や物資の保管、委託販売を担ったのは「問（問丸）」です。「土倉」は質屋を営む金融業者を指します。
問6	答え 3 十三湊	青森県の十三湖の河口付近に位置し、鎌倉時代から室町時代にかけて、蝦夷地（現在の北海道）との北方交易や、日本海沿岸を結ぶ海上輸送の要所として繁栄した。この地を拠点とした豪族の安藤氏（安東氏）は、強力な水軍を背景に交易を支配していた。
問7	答え 1 唐の国力が衰え、往復の航路も非常に危険であったため	当時の中国大陆では唐の国力が衰退しており、命がけて渡航してまで文化や制度を吸収する必要性が薄れていました。菅原道真はこの情勢と航海の危険性を考慮して派遣の中止を提案し、これを機に日本の独自性が強い国風文化が発達することとなりました。
問8	答え 4 鎌倉幕府を滅ぼすのに協力した足利尊氏が、後に離反して光明天皇を擁立した。	建武の新政に不満を持った武士たちの支持を集めた足利尊氏は、後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏が京都を占領して光明天皇を立てたのに対し、後醍醐天皇は吉野（奈良県）に逃れて自らの正統性を主張したため、日本は南北朝時代という分裂期に突入することになります。
問9	答え 1 倭寇と呼ばれる海賊による密貿易を防ぎ、正式な貿易船であることを証明するため	当時、東アジアの沿岸部では倭寇（前期倭寇）と呼ばれる海賊が活動し、略奪や密貿易を行っていました。明は倭寇の取り締まりを強く求めていたため、幕府は「勘合」という割印のある札を持参させ、それを持たない海賊船と正式な遣明船を厳格に区別する仕組みを整えました。
問10	答え 4 応仁の乱によって幕府や守護の権威が衰え、自分たちの力で地域を守り、平和を維持する必要が生じたため。	室町時代中期、応仁の乱が長期化したことで、中央の幕府や地方を統治する守護大名の権威が失墜しました。戦乱に巻き込まれた地域の武士や農民は、自らの土地や生活を守るために団結し、守護の支配を拒否して自発的に集会を開くようになりました。これが山城の国一揆のような組織的な自治の動きにつながりました。他の選択肢は、時代設定や背景が一致しません。
問11	答え 2 寺社や公家に税を納める代わりに、商品の販売や製造の独占権を認められた組織。	室町時代の商工業者は、自分たちの利益を守るために「座」という同業者組合を結成しました。彼らは有力な寺社や公家を保護者（本所）とし、座銭と呼ばれる税を納めることで、その商品の製造や販売を自分たちだけで行うことができる「営業の独占権」を得ていました。江戸時代の「株仲間」や、運送業者である「問（問丸）」、後の「楽市・楽座」と混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 1 首里城	琉球王国は1429年に尚氏によって統一され、那覇にある首里城を拠点に約450年間存続しました。首里城は中国や日本、東南アジアとの交流の影響を受けた独自の建築様式を持っており、王国の象徴として機能しました。2000年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録されています。
問13	答え 1 北虜南倭	明の時代、北からのモンゴル族（北虜）と南からの倭寇（南倭）という二つの外敵に悩まされた状況を「北虜南倭」と呼びます。この時期の倭寇は「後期倭寇」と呼ばれ、日本人だけでなく中国人も多く含まれていました。明はこれに対抗するため、民間の海上取引を禁じる海禁政策をとりましたが、かえって密貿易や海賊行為を助長させる結果となりました。
問14	答え 3 勘合という札を用いて、倭寇と正式な貿易船を区別して行われた。	室町時代の足利義満によって始められたこの貿易は、日明貿易（勘合貿易）と呼ばれます。明側が求めた倭寇の禁止に応じるため、勘合符と呼ばれる札を照合させることで正式な船であることを確認しました。他の選択肢にある平清盛は平安時代の日宋貿易、朱印状は安土桃山時代から江戸時代初期、出島は江戸時代の鎖国下の状況を指しているため、室町時代の説明としては不適切です。